

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年7月2日(木)・9月2日(水)		
事業名	千葉県社会教育担当者研修会		
趣 旨	社会教育主事及び社会教育士、社会教育担当者等を対象に、今後の社会教育や社会教育施設の在り方について理解を深めるとともに、実践的な技術を身につけ、資質の向上を図る。		
会 場	オンライン		
対 象	県・市町村社会教育主事及び社会教育担当者、社会教育士等		
申込方法	W e b 申込み		
募集定員	各回40名	募集期間	令和8年4月18日から令和8年8月26日
参加者数	第1回 27名 第2回 28名	参加費用	
講師 等	第1回 青山 鉄兵 氏 【文教大学人間科学部人間科学科 教授】 第2回 皆川 雅樹 氏 【国士舘大学文学部史学地理学科 教授】		
実施内容	第1回は、「社会教育・生涯学習担当者に求められる役割」をテーマに社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得を目的とし、比較的経験年数が少ない社会教育担当者を対象とした内容の講義。 第2回は、「社会教育の『壁』を超える実践知～学びの場をコーディネートする力～」をテーマに、主に社会教育担当者として3年以上の経験者を対象として現場で活用できる実践的な内容を展開する講義。		
参加者アンケート	【満足度総合 100% (第1回100% 第2回100%)】 ○社会教育主事への興味・関心が高まりました。大変勉強になりました。 ○社会教育と生涯学習の定義や背景、また社会教育士というジャンルの活躍のイメージを掴むことができました。この分野における全体の解像度が上がったのも良い学びでした。本日は、ありがとうございました。 ○社会教育と生涯学習の枠組みや内容を理解することができました。研修会の中でもあった社会教育士の育成研修に関して、ぜひ参加してみたいと思いました。 ○社会教育と生涯学習について詳しく知ることができてよかった。住民の皆様と一緒に生涯学習を進めていきたいと、理想が湧きました。 ○今後、県教委主催の講習に参加し「社会教育士」になりたいと思うようになりました。本日はありがとうございました。 ○生成A I との対話は、自分自身との対話であると感じました。生成A I が、よいタイミングで質問することで、「自分は何をしたいのか」がはっきりとしてくることが分かりました。今後の業務に生かしていきたいと思います。		

	○生成A I との壁打ち利用は新しい領域への体験でした。そういう使い方もあるのだと実践できてよかったです。 ○大人の学習現場や地域コミュニティにおいては、「コーディネート」が求められていることを学んだ。コーディネーターに求められる3つの資質と能力を学び、今後、地域活動等に携わる中で、これまで以上に地域のことを自分ごととして捉え、相手の立場に立って考えて行動することを意識していきたい。また、生成A I との対話の中で、自分の気づきを共有することも、学びの場をコーディネートする一歩と考えて、自分らしい主体性をもって明日から行動していきたい。 ○生成A I を活用し、自分が抱えている課題を整理して具体的な第一歩を導き出すことができました。今後もA I を活用しながら課題を解決していきたいと思います。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「社会教育の定義や生涯学習の理念など基礎的な知識・技術の習得」「現場で活用できる実践的なスキルの習得」については、参加者アンケートにおいて「理解できた」「ほぼ理解できた」と回答した割合が100%となり、事業の目的に沿った成果が得られた。これは、講座内容が充実していたことに加え、講師による分かりやすい説明が理解の促進に繋がったものと考えられる。 ・実施形式については、オンライン（Zoom）による開催とした。受講者は所属先から参加できるため、開催場所に左右されることなく受講できる環境を確保した。その結果、県内各地域から幅広い参加があり、社会教育担当者への研修の機会を提供することができた。 ・第1回については、アプリを活用して受講者が意見や考えを投稿し、講師がその内容を取り上げて講義を進めた。講師と受講者が意見を交わしながら学ぶ双方向での実践的な研修となった。第2回については、生成A I を活用し、受講者自身の取組や役割を分析し、現在の自分自身に必要な視点や課題について考えを深める研修となった。 【課題・今後の方向性】 ・第1回及び第2回の研修内容や、推奨する受講対象（経験年数等）を明記したことで、個々の経験年数や課題に応じた申し込みができたと考えられる。今後も継続していきたい。 ・講師の選定については、参加者アンケートの結果を踏まえ、受講者のニーズを反映した選定を行いたい。 ・講座内容については、必要な知識等を習得できるよう、より充実した研修内容の企画に努めていきたい。 ・研修の周知及び受講申込みについては、第1回研修日の約2か月前から行っている。第2回の研修日からはおよそ4か月前になることから、それぞれ研修日の約2週間前後に再度メールでの周知を行うことで受講者の増加を促したい。